

香川大学「学生の市民的責任感（SSR）育成システム」について

1. 背景

本学では、学生が卒業時に「21世紀型市民」として備えておくべき要素として、①人文・社会・自然に関する豊かな知識 ②21世紀の社会生活に必須の英会話や幅広いコミュニケーション能力 ③課題探求能力 ④市民的責任感 ⑤地域に関する理解力 を大学で育成する力として掲げ、これら5つの要素をバランスよく育成することで就業力の強化につなげていくこととしています。

しかしながら、「④市民的責任感」の育成については、これに相当する「倫理観」や「社会的責任」の育成を目指す授業科目は少なく、十分ではありませんでした。今回、「市民的責任感」の育成に重点的に取り組むことにより、学生が5つの要素をバランスよく修得できる環境を整えたいと考えております。

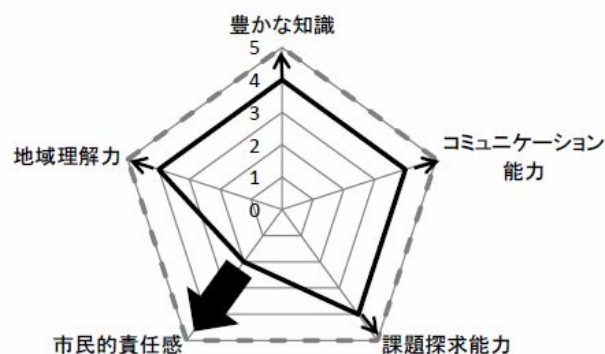


図1. 本事業で取り組む要素イメージ

2. 市民的責任感(SSR)

本学では「市民的責任感」とは、「就業」という観点から、①社会のルール・マナーを知り、実行する態度（社会的規範意識） ②他者を思いやる態度およびホスピタビリティ（他者受容力） ③自分を律して根気強くひとつのことをやり遂げようとする態度（自律性・持続力） ④地域の風土・文化の特徴やコンピテンシー（強み）を理解し自分を適合させようとする態度（地域適応力）の4つを具体的概念として定義しております。

3. 取り組みの具体的内容

本取り組みに当たっては、新たに「SSR推進室」を設置し、学内の有機的連携および産業界や地域からの協力等をコーディネートします。

育成のための具体的取り組みとして、SSRを構成する意識・態度を知識の習得と実践に分けて、①SSR正課科目／正課外講座の開講 ②SSRボランティアの実施 ③SSR実践講座（インターンシップなど）の開講 ④学部PBL（実践型問題解決学習）の基盤強化 の4つのフェーズで進めていくこととしております。

平成22年度中は、「SSR推進室」を設置し、これらのフェーズの内容について詳細な調査・検討を行うなど諸準備を進め、平成23年度から24年度にかけて試行と体制強化を進め、平成25年度には本格的展開する計画としております。

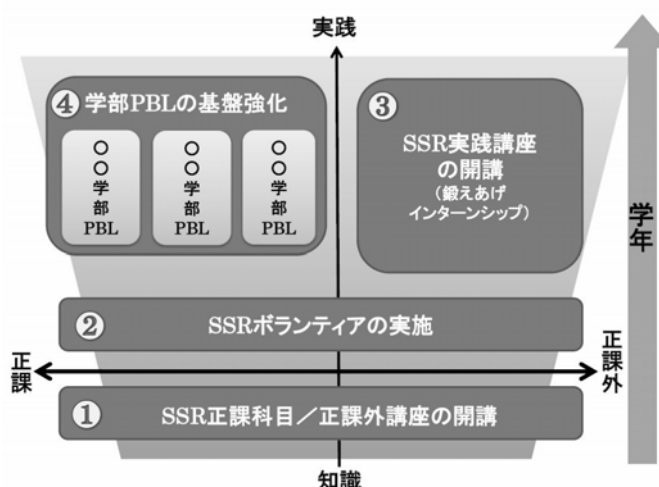


図2. 具体的取り組みのイメージ

* PBL (Problem Based Learning)